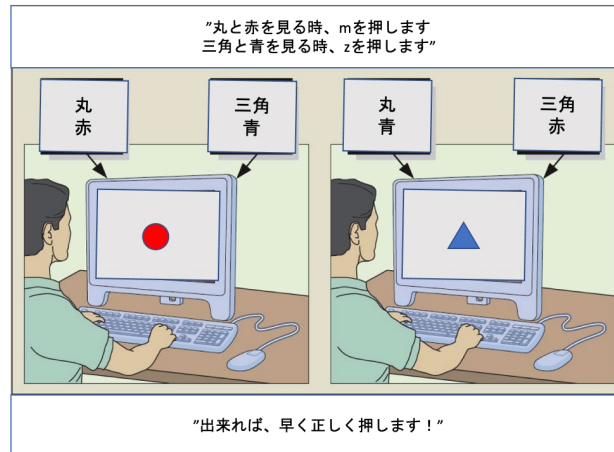


## 研究協力についての説明書

### (研究説明書)

#### 実験のイメージ



1. **研究課題名**：発達障害者における色と形クロスモーダル連合の発達過程と認知特性の解明

2. **研究対象者として選定された理由**：本研究では、16歳以上の方を対象としています。

上記年齢の方のうち、

- ・ 発達障害（自閉スペクトラム症、難読症、広汎性発達障害、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害など）の特性があることが明らかになっており、それについて告知を受けている方（当事者ご本人）を対象にしております。尚、定型発達者は発達障害者との比較を行うためのデータ取得にご協力いただきます。

一方、

- ・ 視覚（色覚）障害を有している方
- ・ 発達障害以外の精神神経疾患を有している方

は今回の調査では、対象外とさせていただきます。

説明内容および質問紙の意味が十分にご理解いただけた方のうち、ご参加に同意いただける方からのご協力をお願いしております。説明の内容に不明な点があれば、ご遠慮なくご質問ください。研究参加への同意を書面で確認の上、国立障害者リハビリテーションセンター研究所の研究担当者が実験を実施します。

3. **研究目的、意義、方法及び期間**：

国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部・発達障害研究室では、自閉症スペクトラム障害などの発達障害における視覚情報処理に関する研究を行っています。クロスモーダル連合とは、異なる種類の感覚刺激の間で、特定の特徴の組み合わせが強まっている状態を指します。発達障害者の方は、感覚情報処理について定型者とは異なる特徴があると見られます。本研究では、心理行動実験を通してデータを収集し、発達障害者の色と形の連合などクロスモーダル連合を調べることで、発達障害者の日常生活の中で、しっかりとくる色と形の視覚デザインの提案を目指しま

す。そのような提案を通じて、障害当事者の生活の自立，就労を促進し，本人と家族の生活の質，さらに取り巻く社会の福祉の向上に貢献することが，研究の目的です。この研究は，国立障害者リハビリテーションセンターの倫理審査委員会およびセンター総長の承認を経て実施されるものです。

研究期間は，令和3年3月から令和4年3月までを予定しております。

#### 4. 研究協力依頼内容：

- ・ 実験時間は説明や休憩も含めて90～100分程度です。適宜休憩をとりながら1回あたり8～10分の実験を数回（最大所要時間約60分）と，質問紙（AQスコア、EQ/SQスコア、CAARSスコア、BFIスコア、Color deficiency test等）の回答（所要時間約10分）を行っていただきます。
- ・ 謝金として規程に応じて（1時間以上3時間未満4310円）支払われます。支払い方法は銀行振込です。源泉徴収後の金額が，1か月程度後に振り込まれます。
- ・ まず課題の説明を行います。同意ののち，必要に応じて課題の練習も行っていただきます。なるべくリラックスした状態で椅子に座ってください。
- ・ 主な課題は，「モニタに提示される色、形、文字、数字について，色と形を判別する」ことです。実験中はモニタを見ながら，キーボードを操作することで回答してください。回答の状況から，回答速度や精度を計測します。また，音の刺激を聞いてもらうため，ヘッドホンをしていただく場合もあります。いずれも日常生活で感じる程度の刺激強度なので，危険な刺激ではありません。実験中の視線測定を行う場合がありますが，これには赤外線とカメラを用いた計測システムを使用します。目に障害を与えるような危険な刺激は出ておりません。
- ・ 1ブロック5～8分の実験を数回行っていただきます（所要時間：最大で計60分）。実験と実験の間で必要に応じて休憩をとります。実験中であっても，疲れてきた，眠くなってきたなどの場合には，必ず申し出てください。そのつど休憩をとっていただきます（あるいは実験を中止します）。
- ・ 行動実験後に簡単なアンケートを用いて，色と形の連合についてお聞きします（約3分）。
- ・ 本実験の参加者となることは自由意思によるものであり，実験遂行に関して，実験者の説明に納得がいかない場合や，身体的あるいは精神的に不調をきたした場合は，いつでも実験を取りやめることができます。また，理由のいかんに関わらず，自由に実験を中止することができ，その中止によっていかなる不利益もありません。
- ・ 実験装置，課題について事前に説明します。この説明で，参加者の理解と参加の承諾を得られ，かつ実験前の質問事項に対する回答に問題ないと実験責任者が判断した場合のみ実験を開始します。
- ・ 実験に関して，不安を感じる点，手順を理解できない点があれば，実験途中であっても実験担当者に質問していただいてもかまいません。

#### 5. 予想される協力者の不利益及びその対応

本研究で使用する視覚，聴覚刺激は，いずれも市販のPCや音楽プレイヤーや携帯電話の振動等

と同等の強度の範囲であり（視覚刺激は市販のモニタより出力、聴覚刺激は 80 dB SPL 以下）、身体への危険はありません。実験中、同じ姿勢を取りつづけることによる疲労や不快感を生じることが考えられます。また体調によっては感覚刺激自体が辛く感じられることがあります。その場合は、我慢せずに速やかに実験担当者にお申し出ください。適宜休憩をとるか、刺激強度・姿勢の調整をいたしますし、実験を中止させていただくこともございます。

#### 6. 個人情報管理方法（匿名化など）

プライバシーの保護・機密保持については厳重に取り扱います。収集したデータは研究以外の目的に使用しません。学会や学術雑誌への、実験結果の発表においては、被験者の方のお名前やその他の属性が記載されることはありません。

#### 7. 当該研究の資金源、起こりうる利害の衝突（研究結果に関する特許権の利害等も含む。）及び研究者等の関連組織（研究者の属する実施機関、研究班等）とその関わり

この研究は、科研費研究活動スタート支援「Color-shape associations in developmental disorders」（研究代表者：陳娜）および国立障害者リハビリテーションセンターの運営費を用いて、研究所（脳機能系障害研究部 発達障害研究室）にて実施します。起こりうる利害の衝突はありません。

#### 8. 当該研究に参加することにより期待される利益、起こりうる危険及び必然的に伴う不快な状態並びにその対応

本研究は、発達障害者の色と形の連合の認知特性を明らかにすることを通じて、将来的な視覚色と形のデザイン、福祉の向上に資することを目的に実施しております。今回の調査に参加することによる直接的な利益はありませんが、発達障害の方の色と形のクロスモーダル連合を調査、集積し、認知特性との関連を明らかにすることで、将来的な支援手法・対処方法の開発に貢献できる可能性があります。今回の実験は、治療面などの直接的な利益はありませんが、希望があれば測定の結果をお知らせします。実験機器は非侵襲的なものですので、身体への危険はありません。課題への集中や、同じ姿勢をとり続けることで疲労や不快感を生じるかもしれませんが、「疲れた」や「休みたい」といったように違和感を感じた時には、すぐに休憩や実験中止といった対応をいたしますので、遠慮なくおっしゃってください。

#### 9. 個人情報の取扱に関するお問い合わせ先：

質問・問合せ・ご意見がある場合は、下記までお申し出下さい。

国立障害者リハビリテーションセンター

企画・情報部 企画課長 佐々木薫

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL：04-2995-3100（内線 2140）、FAX：04-2995-3661

苦情申し出先アドレス：[kikakurinnri@mhlw.go.jp](mailto:kikakurinnri@mhlw.go.jp)

#### 10. 実験に関するお問い合わせ先：

国立障害者リハビリテーションセンター

研究所 脳機能系障害研究室 発達障害研究室

流動研究員 陳 娜 (研究責任者)

TEL : 04-2995-3100 (内線 2544), FAX : 04-2995-3132

苦情申し出先アドレス : chen-na@rehab.go.jp

室長 和田 真 (研究室長)

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4 - 1

TEL : 04-2995-3100 (内線 2586), FAX : 04-2995-3132

苦情申し出先アドレス : wada-makoto@rehab.go.jp, wada-makoto.tl7@mhlw.go.jp

## 11. その他の確認事項

- ① 研究に参加することに同意しなくても、なんら不利益をうけることはありません。実験開始前に試験的に刺激を与えて問題ないことを確認した上で、実験を進めます。体験時など途中でつらくなって実験をやめても不利益はなく、途中の時間までの謝金をお支払いします。また一旦参加することに同意した場合でも、その同意はいつでも撤回することができ、実験中でも自由に取りやめることが可能です。取りやめた場合でも規定額の謝金をお支払いします。なお、研究成果公表後には、同意の撤回はできませんのでご了承ください。
- ② ご希望があれば、個人データの解析結果をご本人またはご家族に開示し説明をいたします。
- ③ 測定されたデータは研究目的以外には使用せず、国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部 発達障害研究室の鍵つき保管庫に保管されます。研究終了後 10 年、または当該論文発表後 10 年のどちらか遅い時点まで保管し、その時点で廃棄いたします (個人情報シュレッダー等により処理)。
- ④ 本研究の成果は、学会、報告会、論文等において公表されることがあります。論文等に付随して反応速度・反応率等のデータが図表ないしはデータベースのかたちで公表されることがありますが、すべて個人を特定できない形で処理されます。いずれの場合においても、参加者の個人情報が外部に公表されることは一切ありません。

説明年月日： 令和 年 月 日

説明者： \_\_\_\_\_

(国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部 発達障害研究室)

説明を受けた者 (本人またはこれに準ずる者) の住所、氏名、本人との続柄

氏名： \_\_\_\_\_ (続柄： \_\_\_\_\_)

住所： \_\_\_\_\_